

I. 広東省

1 国有企業の責任管理追及弁法を公布

●このほど、広東省国有資産監督管理委員会は、広東省管轄の国有企業を経営管理する関係者が協定違反や職務怠慢により、投資などで国有資産に損害を与えた場合には終身に渡る責任追及を行う実施弁法を公布した。責任については、損害の程度や問題の性質などにより、給与カット、立ち入り制限、紀律処分、監察機関や司法機関への移送等が行われる（20日付「南方日報」6面）。

II. 広州市

1 反腐敗にかかる処分

●広東省紀律検査委員会・監察委員会は、柯珠軍・広州市政協副主席を重大な規律違反の疑いで調査中であると発表した（18日付「広州日報」5面）。

2 広州臨空経済モデル区に約300億元を投資

●18日、広州白雲国際空港周辺の広州臨空経済モデル区で、プロジェクト着工式（16件）と契約式（10件）が行われた。投資総額は300億元近くに上る。孫秀清・広州空港経済区管理委員会党組書記兼主任によれば、同モデル区の初期段階は、航空機メンテナンス、旅客機から貨物機への改修、航空物流、越境EC、航空ビジネスとしての本部、航空機リース等の6大産業を形成すると述べた（19日付「南方日報」4面）。

3 広州市が6社に自動運転車の公道試験用ナンバープレートを交付

●20日、広州市交通運輸局、広州市工業情報化局、広州市公安局は、広汽集団、文遠知行、小馬智行、景騏、AutoX等の6社に対して、自動運転車の公道での走行試験用のナンバープレートを交付した（21日付「南方日報」6面）。

III. 深セン市

1 テンセントと中興通迅が5G分野で提携

●このほど、深セン市に本社を置くテンセントと中興通迅（ZTE）が5G分野で提携に向けた覚書を行った。エッジコンピューティングやネットワークスライシング等の技術の開発・実用化で協力する（19日付「深セン特区報」AII 1面）。

2 1月～5月までの深セン市の輸出総額は前年同期比4.8%増

●19日、深セン税関の発表によれば、2019年1月～5月の貿易総額は1.1兆元だった。そのうち輸出は6,251.1億元で前年同期比4.8%増だった（20日付「深セン特区報」1面）。

IV. 福建省

1 汪洋・中共中央政治局常務委員兼全国政協主席が第11回海峡フォーラムに出席

●16日、汪洋・中共中央政治局常務委員兼全国政協主席が第11回海峡フォーラムに出席し、祝辞を述べた。汪主席は、習近平総書記が「台湾同胞に告ぐ書」発表40周年記念大会での重要講話により、兩岸で大きな反響があり、更に積極的な交流が行われるようになった。今回のフォーラムは、習近平総書記の重要講話を発表した後に開かれた初めての大規模な行事で、新たな情勢下で兩岸の民間交流拡大や融合発展を深める会合であり、参加者数は過去最高である。これは兩岸の経済交流の融合はいかなる力でも抑えることはできず、兩岸の民衆が同じルーツを持つという絆は、いかなる力でも断ち切ることはできないことを示していると述べた（17日付「福建日報」1面）。

V. 広西チワン族自治区

特になし。

VI. 海南省

1 1月～5月までの海南省のサービス貿易輸出が前年同期比約50%増

●海南省商務庁の発表によれば、2019年1月～5月の海南省のサービス貿易の総額は約84.89億元で前年同期比19.12%増だった。そのうち、輸出は45.05億元で、同比49.31%増だった（20日付「海南日報」1面）。

2 1月～5月までの海南省の貿易総額は前年同期比45.6%増

●海口税関の発表によれば、2019年1月～5月の海南省の貿易総額は383.9億元で前年同期比45.6%増だった。そのうち輸出総額は137.1億元で同比53.0%増、輸入総額は246.8億元で同比41.7%増だった（23日付「海南日報」1面）。

（了）